

平成 27 年 2 月 26 日（木） 第 1 回桑名市高齢者虐待防止ネットワーク委員会

桑名市における高齢者虐待対応状況

桑名市中央地域包括支援センター
社会福祉士 西村 健二

1. 相談通報件数と虐待認定件数

平成 24 年度	全国	三重県	桑名市	中央	東部	西部	南部	北部
相談通報件数	23,843	502	31	0	4	14	4	9
虐待認定件数	15,202	267	21	0	3	8	2	8
虐待認定割合	63.2%	53.2%	67.7%	0%	75%	57.1%	50%	88.9%

平成 25 年度	全国	三重県	桑名市	中央	東部	西部	南部	北部
相談通報件数	25,310	419	31	1	5	11	5	9
虐待認定件数	15,731	263	19	1	2	8	4	4
虐待認定割合	62.2%	62.8%	61.3%	100%	40%	72.7%	80%	44.4%

平成 26 年度	桑名市	中央	東部	西部	南部	北部西	北部東
相談通報件数	39	0	4	8	2	19	6
虐待認定件数	29	0	3	7	2	12	5
虐待認定割合	74.4%	0%	75%	87.5%	100%	63.2%	83.3%

※ 平成 26 年度は平成 27 年 2 月 20 日現在

平成 25 年度は通報件数は前年度と同数であったが、虐待認定件数は前年比 ▲2 件とやや減少した。平成 26 年度はいずれも増加傾向にある。

なお、中央地域包括支援センターは、平成 26 年 4 月 15 日をもって担当地区を東部地域包括支援センターに移管している。

また、北部地域包括支援センターは、平成 27 年 1 月 1 日をもって北部西地域包括支援センター（旧多度）と北部東地域包括支援センター（旧長島）に分割している。

2. 高齢者虐待対応能力向上のための取り組み

○日本社会福祉士会高齢者虐待対応現任者標準研修（3日間）の受講

- ・異動したばかりの1名を除く全社会福祉士が修了
- ・他の職種も積極的な受講勧奨
- ・その他各種虐待関連の研修会に積極的に出席

○毎月開催の社会福祉士連絡会議（社会福祉士部会）における権利擁護事例検討

- ・各地域包括支援センターが持ち回りで事例を紹介、全員で検討

○地域支援調整会議の積極的活用

- ・困難事例解決のための地域ケア会議を地域支援調整会議とし、積極的に活用している

○困難事例要因調査の実施

- ・平成25年11月、困難事例要因調査を実施
- ・平成23年4月1日～平成25年9月30日の2年6か月の期間に対応した困難事例265事例を対象とした悉皆調査
- ・平成26年1月、中間報告書発行
- ・同月、桑名市地域包括ケアシステム推進協議会において報告
- ・平成26年7月、第22回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会において発表
「桑名市地域包括支援センターにおける困難事例要因調査について～地域包括ケアシステムのボトムアップ型構築法確立を目指して～」
三重県社会福祉士会社会福祉に関する研究、調査奨励事業助成金を利用
- ・同月、最終報告書発行。

○法福連携研修会（高齢者虐待防止研修会）の開催

- ・平成25年2月、第1回法福連携研修会 68名参加
うち法律専門職8名（弁護士3名、司法書士5名）
- ・平成26年3月、第2回法福連携研修会 86名参加
うち法律専門職13名（弁護士4名、司法書士8名、行政書士1名）
- ・平成27年2月、第3回法福連携研修会 62名参加
うち法律専門職15名
（弁護士5名、司法書士7名、行政書士2名、土地家屋調査士1名）

○法福連携の取り組み

- 平成 26 年 10 月、第 35 回地方自治研究全国集会において発表
「行政社会福祉士が取り組む『法福連携』—地域包括ケアシステム構築に向けた法律専門職と福祉専門職の連携推進—」
地方自治研究賞・優秀賞受賞
- 平成 26 年 12 月、第 1 回桑名市「法福連携」懇談会開催
- 平成 27 年 2 月、「虐待気づきシート」作成ワーキングチーム設置

○三重県・他市町との連携・協力体制

- 三重県高齢者虐待防止チームに職員派遣
- 三重県地域ケア会議活動支援アドバイザーに職員派遣
伊勢市、尾鷲市、大台町などに講師として派遣
- 三重県社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会に職員派遣
- 三重県健康福祉部長寿介護課、他市町・地域包括支援センターからの虐待対応相談に対応協力

○他の専門職・専門機関と積極的連携